

内閣府副大臣
衆議院議員

信頼と絆 私はブレない

討議資料

国政ニュース 2018
秋季号 vol.95

田中

りょうせい
良生

現場の声を国政に届ける！



facebook
「田中良生」

twitter
@Tanaka_Ryosei

blog.tanaka-ryosei.com
毎日更新中！

TANAKA RYOSEI OFFICIAL
SITE

① ドローン等の革新技術の発展のため「現場主義」で大胆な規制改革！！

資源の無い日本の発展には、科学技術の力が欠かせません。自動運転やドローンといった成長が見込める**革新技術について、国内外の開発現場で視察・意見交換**を重ね、国際競争の厳しさを肌で実感。研究を加速するため、「**安全確保を前提に、科学の発展に合わせて大胆に規制を変えなくては**」と決意しました。特定地域に限定して大胆に規制改革し、革新的な実証実験にチャレンジするための「**サンドボックス制度**」の導入・運用に向けて、規制改革担当の内閣府副大臣として邁進しています。



自動運転ベンチャーを視察。「日本は実証実験への規制が厳しく開発困難」と聞き、規制改革に危機感を強めました。



スイスでは市街地でドローンを飛ばし、病院間で血清等の医薬品を輸送。国民生活の改善に直結しています。



規制改革への厳しい意見もあり、通常国会で野党質問への答弁回数は、副大臣・政務官全 52 人の中でトップに。

② 拉致問題担当副大臣として、拉致被害者全員帰国に向けて、全力を注ぐ！！

横田めぐみさんや田口八重子さんが拉致されて 40 年以上たちました。被害者ご家族と毎月のようにお会いするたびに、一刻の猶予もないと感じます。取り戻すには、日米韓の連携が重要です。6月の米朝首脳会談での拉致問題提起で、交渉の土台を築きました。**私も韓国政府の高官と直接面会し、拉致問題に関する連携強化で一致**しました。相手は北朝鮮ですので、交渉に焦りは禁物です。**確実に被害者全員の帰国につなげるための協議**をおこないます。また、北朝鮮は日本の世論をよく見えています。「拉致被害者を絶対に取り戻す」という日本国民の総意を示すため、啓発活動にも力を入れています。



駅前で署名活動。「拉致被害者を絶対に取り戻す」という意味を、日本国民の総意として示すことが重要です。



首相官邸にて拉致被害者ご家族と面会。月 1 度のペースでご家族とお会いし、意見交換を重ねています。



駅前で署名活動。「拉致問題を決して許さない」という強い怒りを、日本国民の総意として示すことが重要です。

③子育て支援・少子化対策の抜本的な拡充

2020年までに約32万人分の保育所等を追加整備するため、財源確保に汗を流しました。深刻化する保育士不足に対応し、保育士の処遇改善予算を確保し、企業主導型保育等の多様な保育を推進。

子育て家庭の支援のため、政府として**幼児教育・保育の無償化**を決定。来年10月の施行までに時間が限られる中、内閣府の職員の先頭に立って「迅速かつ丁寧な制度設計を」と努力しています。



④女性活躍・セクハラ対策強化～フェアネスの高い社会へ～

女性活躍はアベノミクスの柱です。「女性と経済」をテーマに開催された**APEC閣僚会議**でスピーチ。女性政治家増のための法律、女性推進に資する働き方改革等、日本の取組は他国からの注目を集めました。

財務省次官のセクハラ問題を契機に、**官民双方のセクハラに対する意識を抜本的に高める**必要があると考え、6月12日にセクハラ対策を強化する対策パッケージを策定しました。

⑤スポーツ関係協会のガバナンス強化～公益法人担当として～

レスリング協会（伊調選手）、相撲協会（暴力問題）、体操協会（宮川選手）と**問題が相次ぎ、東京五輪を前に由々しき事態だと**考えています。各協会が公益法人としてふさわしいか、内閣府は協会に対して対応状況の報告を求め、協会の**ガバナンス強化を後押し**しています。



⑥公文書管理の徹底

公文書改ざん問題を受け、チェック体制を強化。官邸の副大臣会議で、**私から各省に対策徹底を要請。**

⑦地方創生・市街地活性化

キラリと光る地方大学づくり、商店街の活性化等を行う「**地方創生2法**」を成立させました。

⑧高齢者が活躍する社会

誰もが年齢に関係なく活躍できる「**エイジレス社会**」を目指すことを閣議決定し、**TV出演。**



国会見学ツアー常時募集中です！ご希望の方は事務所にご連絡ください！



官邸難壇にて記念撮影



絢爛豪華な赤坂迎賓館



テレビ中継する第一委員室



絢爛たる議長応接室

< 選挙区事務所 > 〒336-0018 埼玉県さいたま市南区南本町 1-14-5 Tel 048-844-3131 FAX 048-844-3140

< 後援会事務所 > 〒335-0004 埼玉県蕨市中央 6-3-3 Tel 048-444-7400 FAX 048-444-7401